

宮代町立笠原小学校

米づくりを通じた体験活動

全学年



特色

- 2・5年生が学校に隣接する「ほっつけ田」でもち米作りを行う。収穫した米は、笠原祭りで全校児童が餅つきをする。
- 稲刈り後、乾燥させ、脱穀後にわらを保管する。地域の方の指導のもと5年生は、正月飾りづくりを行う。また、6年生は、草履作りを行い、修学旅行で草履を履いて、箱根杉並木を大名行列する。

児童の感想

- 稲を刈るのにコツがあって難しかったけれど楽しかった。
- 農家の人の大変さが、少し分かった。
- わらを編む作業が難しかったけれど、最後まで作れてよかった。
- 自分で作ったわらじを履いて杉並木を歩き、一生の思い出になった。

成果

- 本校では、豊かな自然環境を生かした活動を積極的に行っている。田植え、稲刈り、脱穀、餅つき等の一連の体験活動を通して、自然を大切にする心や働くことの意義を理解するとともに、地域の方々への感謝の気持ちをもつことができた。
- 正月飾りやわら草履づくりを通して、物を大切にする心や粘り強くやり通すことの大切さを実感できた。